

先端の宇宙研究学ぶ

吉城高生 神岡の東大施設見学



重力波観測の装置CLIOを見学する生徒たち＝飛騨市神岡町で

飛騨市古川町の吉城高校理数科の二年生三十三人が、飛騨市神岡町の旧神岡鉱山にある東京大学宇宙線研究所を訪れ、最先端の宇宙研究の現場を見学した。

生徒は宇宙や自然科学への関心を高めてもらおうと毎年実施している。研究所では、宇宙の成り立ちなどの話を聞き、建設計画が進んでいる大型低温重

力波望遠鏡の縮小モデルに当たるCLIO(クリオ)を見学した。生徒らは高山市にある京都大学防災研究所の地震予知センター上宝観測所も訪れた。
(島将之)

のほか、ブラックホール誕生の瞬間を解き明かすため今後研究が本格化する重力波観測のKAGRA(カグラ)プロジェクトの講義を受けた。

生徒らは重力波推進室神岡分室の准教授・三代木伸二さんから、空間のゆがみである重力波の成り立ちなどの話を聞き、建設計画が進んでいる大型低温重